

雜 錄

電信試験技術官竝に修繕職工召集

近來電報劇増の結果重要地間電信回線は續々自働機に變更せらるゝと同時に自働中繼盤の増置を來し一面長距離海底線の増設に伴ひ現波機の使用を増加せり是等の高等通信機械は非常に多數の電報を日々取扱ふを以て其活動能率の良否は直に全般の通信成績に至大の影響を及ぼすは明なり從て之が保守及修理竝に調整の完全を期するは事業上極めて緊要なるを以て直接其の任に當れる試験技術官の智識を啓き職工の技能を高むる爲め今回各遞信局より試験技術官七名職工十四名本省に召集せられ試験技術官は五月七日より一週間高等通信機を裝置せる重要回線の能率増進竝に試験事務打合及機械修理に関する研究をなし又職工は五月二日より二週間大臣官房經理課製機係に於て専ら鑽孔器及自働機の修理實習をなしたり

參集試験技術官

東 部 石 川 熊 治 君	西 部 松 尾 俊 太 郎 君
廣 島 高 橋 和 君	九 州 富 米 野 實 君
北海道 駒ヶ嶺 良之助 君	北 部 佐々木 高 次 郎 君
上 海 鹽 田 雄 三 君	

殖民地より參加者

臺 灣 戸 田 友 一 君	朝 鮮 齋 藤 正 太 郎 君
滿 洲 進 藤 貫 一 君	

右に關し五月七日浦田工務課長より試験技術官への演達左の如し

試験技術官に對する工務課長演達要領

今日諸君と茲に相見ることを得るに至りしは不敏ながら工務課

長として誠に本懐の至りと存じます。今回召集されたるは全國の試験擔當官の一部分に過ぎざるも、何れも高等通信機の活動せる重要な土地又一般試験事務に付ても樞要なる位置を占めたる土地に勤務せらるる方々である。諸君が今回召集されざる他の試験擔當官共々平素斯業の爲めに奮勵せらるる勞苦に對して敢て一言茲に感謝の意を表する次第である。時勢の進運は益々試験擔當官の努力を要求し、特に高等通信機の周到なる保守と其能率増進に關しては更に諸君の一一致協力研究を要する所あるを痛切に感じたるが爲めに、一面に於ては諸君の配下にある職工の召集となり、又諸君の會合となつた次第であります。

殖民地より遙々來會されたる諸君に對しては今回の催しは隨分性急なりし爲め、開會期日切迫してからの通知なりしにも拘はらず、上長官の御贊同に依り早速諸君を御派遣下されたるは誠に仕合と存じます。諸君に於ても御蘊蓄を披瀝され、我々共々御研究を願ふは勿論のこと、平素機械の上にての御話は或は遞信省側の當事者と意志の疏通を缺くの憾もなきにあらざるべきにより、今回を好機とし十分の打合せあらんことを希望致します。

倘更に尙少しく今回諸君の召集されたる理由と會合に對する希望を述べたいと思ふのである。

近年電報通數の増進に伴ひ高等電信機の増置も著しく多數に上りて、明治四十年には自働機の回線三、現波機回線四ありしもの大正五年度末には自働機二十一回線現波機八回線となり、回線數に於ては全國回線の一分一厘に過ぎざるものに依りて扱はるる通數は一日約三萬六千通、即ち全國通數の一割一分五厘に當るのであります。此の如く機械の數が増し其通信數が劇増せる爲め往々

にして保守行届かず、機械が虐使され居る傾向がある。先般宮村技手の各局に就きて調査し來りたる所に依れば、現用の鑽孔器が損傷の爲めに修理を要したる度數が平均一ヶ月七十回以上に及びたる局がある、之等は鑽孔紙の不良鑽孔者の叩き方不良等の原因もあらんが、亦修理、保守の方法其當を得ざりしことゝ信ずるのであります。長崎の大北會社にては一度修理を加へたる鑽孔器は一週間以上繼續使用し得る由である。不完全なる修理をなし不完全なる使ひ方をなすは所謂虐使するものにて、其固有の能率を低下せしむこと甚しと云はねばならぬ。

之等高等通信機械は現今に於ては尙主として外國の供給に待つが故に戦争の影響を受け豫備の機械又は修理の材料は價格の騰貴のみならず、之を供給せしめることが甚だ困難を感じる現況であります、通信數は今後益々増加するであります、就ては此際各局稍區々に涉れる修理保守の方法を統一して、最善の標準を定め、又職工の技倆を練磨し是等微妙なる機械動作の効果を充分に發揮したき希望あり、従つて諸君の會合となつたのである。其方法の一としては修繕心得の制定等も必要なるべく、又職工の技術練習向上の精神を涵養することも必要であります、之等に付き御研究を遂げられたいのである。

自働中繼盤は現今全國に於て七十二座あり、之を通過する通數は一日約六萬三千通之を人手中繼にて通信するものと假定せば一人一日百六十通と見ても約八百人の通信當務者を要する譯である其手數と費用とを全然省きて、而も遅延と誤謬とを免れ得る之等中繼盤の働き如何は一に懸て諸君の双肩に在るので、此事に關しては從來工務部長會議にも屢々討議された事なるが、今回は日夕

直接其任に當らるる諸君が微細の點に至るまで討議講究されることを望むのであります。

要するに機械動作の良否は直接通信に従事する者の取扱能率に影響すること至大で、又機械と云はず障害の場合に於ける措置の敏活なると否とは堆積せる通信の疏通上に影響すること亦甚だ大なるものであります。之等は主として諸君の活動に依るのである。

斯の如く考へ來れば諸君の一舉手一投足にも職責の重且大なることが付き纏つて居るのであると今更の如く感ぜらるゝ次第であります。之等試験上の措置等に付ても研究を希望するが故に諸君の御手許へ問題を配付したる譯で、中には斯く斯くの事を行はゞ妙ならんも經費の不足を如何せん此事を試みたきも人員の不足を如何せん、夫々至極御尤なる道理事情の事物もありませう、乍去徒らに人員經費の不足を楯にして萬事進歩改良の講究を疎外することは出來ぬ、事柄に依りては進んで人員經費の増加を絶叫せねばならぬ事もあらうと思ふ。併し一面に於ては現状に於て各部機能が最も有效に働き居るや尙進歩改良の餘地なきや否やを討究することが最も必要であると信するのであります。

將來に於ては世界の通信事業發達に後れざるためには益々高等通信機の進歩したるもの採用すべき氣運にも向ふべく、又日本に於ても適切にして效力多き高等通信機或は通信方式を發明し應用したきものと思ふ。之等は亦一に諸君の努力に俟たねばならぬ所であります。

今回の會合は極めて短時日なるも、出来る丈け之を能率高く使用することに心懸けられ腹藏なく其所信を披きて研究されたい。

又試験當務者相互間の意志疏通と云ふことは極めて必要と思はるゝが故に十分此會合の機會を利用されたい。而して歸任の後は十分之を事業に應用され、同僚間にも能く本省の意志を傳へ、一面通信當務者とも協力し一段の成績を發揮され、今回の召集をして意義あるものたらしめられんことを切に切に希望するのであります。

右に對し石川熊治氏は一同を代表して左の答辭を述べらる。

一同を代表致しまして一言御挨拶を申述べます只今工務課長閣下より色々と懇篤なる御訓示を下され一々肝銘致しました次第で御座ります我々素より微力では御座りますが各々任地へ戻りました上は他局員へも御訓示の趣旨を傳へ共に共に力を協せ粉骨擢身斯業の爲めに貢獻する處わらんことを期します一言以て答辭と致します

試験技術官會議に於ける打合事項左の如し

- 一、通信能率を増進する爲め自働機及現波機回線の速度を大ならしむる方法
- 二、自働機、現波機、鑽孔器及自働中繼盤等の取扱及保守を一層完全ならしむる方法
- 三、自働機、現波機、鑽孔器等の修繕に關する件
- 四、自働機、現波機、鑽孔器等各部分の名稱制定に關する件
- 五、障害を成るべく未發に防ぐ方法
- 六、障害の回復を最も速かならしむる方法
- 七、海底線障害の際に於ける通信保護法
- 八、局舎狭隘に應ずる爲め自働中繼盤の面積を狹小ならしむる件
- 九、海底線障害試験に關する件

右の序を以て打合せ参考に資すべき事項左の如し

- 一、現波通信の符號統一に関する件
- 二、電燈電力線より受くる通信障害及之が防禦に関する件
- 三、海底線定期試験に関する件
- 四、試験執行地に於ける試験装置に関する件
- 五、海底線保安裝置に関する件
- 六、電池保守に関する件
- 七、試験盤及切替盤に関する件
- 八、電信用レクランシー電池の成績に関する件
- 九、線路障害報告處理方法の件
- 一〇、線條及回線の定期試験に関する件

小石川電話分局開始

番町局及下谷局に於ける加入者數は交換機の全容量に達し最早收容し得ざる状態に至りたるを以て此等二局に於ける所屬加入者の一部を分割收容するため新電話分局設置の必要を生じ小石川區柳町に局舎の位置を選定し本郷區の内十三ヶ町小石川區の内四十ヶ町外に王子町板橋町岩淵町及瀧野川村の一部の加入者總數一千四百十四名を收容し五月十三日共同電池式を以て交換業務を開始す左に其の設備の概要を摘要せん

因に記す東京市内には今回新設の小石川分局を合せ交換局數十局に達し總加入者數四萬五千三百八十三名となれり。

局舎。敷地は六百四十二坪を有し本館は鐵骨鐵筋コンクリート二階建電力室、暖房機關室は木骨鐵網コンクリート平家なり附屬舎は木造二階建と平家として建坪總數五百八十餘坪なり昨年八月工を起し本年三月竣工す工費十二萬圓餘を要せしものなり本館建築上の特色は基礎